「やまぐち萩往還ウォーキング同好会」

新春山陽道 11 ㎞ウォークと新年会

期日：令和 2 年 1 月 25 日（土曜日）曇り
集合：防府駅　時間：13 時～17 時
参加者：8 名　杉俣、大久保、中村、武安、田中、岡田、国平、
　　嶋田（ウォークのみ）
特別参加：長畑

新年最初のウォーキングは少しハードな企画となりました。

山陽道（旧西国街道、京の都～福岡大宰府）の防府天満宮がある今宮宿から大道宿間、約 11 ㎞のウォークと新年会。又は宴会のみの二者択一で提案した所、ウォークの参加希望が全員でした。

当初 10 名の参加でしたが、1 名は風邪、1 名は突然の怪我で不参加となり 8 名参加と広島から長畑さんが参加して下さいました。総勢 9 名で出発。高低差は１５０ｍ位で登りは１か所で厳しくは無いが、11 ㎞は皆さん初めての挑戦です。全員完歩出来るか少し心配。

天気は当初の予報では小雨でしたが、曇りで寒くはなくウォーキングには最適。今回の防府天満宮から始まるコースは、途中まで萩往還と重なり宿場街の面影を残す本陣兄部家跡（2011 年焼失）や宮市観音、成海寺などがあり又明治・大正時代の呉服店や洋装店・酒蔵も数軒残っています。

萩往還道を分かれてから途中は変化なく佐波川沿いをひたすら歩きます。皆さんのんびりと話は弾みます。所で、この堰堤はある仕掛けがあって下流に向かって右側土手の方が低くなっているのです。大雨の時右側の部落の方へ水が流れるように意識的に作られているとの事です。…住民の皆さんも知っているらしく今までまだ被害を受けたことは無いと聞き納得。歩き始めて 1 時間半、大崎橋（大崎の渡し）を渡って最初の休憩地玉祖神社に到着です。

玉祖神社は日本書紀にも出ており平安時代には周防国一宮として崇敬を受け、中世以降も歴代領主から崇敬を受け、【重文】又黒柏鶏（長鳴鶏に属する日本古来の鶏、国指定天然記念物）を飼育されています。周りから甲高い鳴き声が約 7～8 秒間聞えてきます。

休憩後は大道宿に向かってもうひと頑張り。途中佐野 1 里塚跡の石碑を発見。表中には「小瀬川より十九里　赤間が関まで十七里」とあります。いよいよこのコースの一番高い佐野峠を目指す。海抜１５０m位の峠を上り始めると、あちらこちらから「あとどれくらい」「きついよ！」「まだ～」など不満の声が聞えてきました。「もう少し」となだめながらやっと頂上に到着。脱落者なし！！

諸国の大名がこの駕籠立場で休憩した場所で記念写真。

瀬戸内海の眺めは「山陽道第一佳景」と詠まれているだけあって素晴らしい。もっと天気が良ければ九州の国東半島が見えるとのこと。

あとは大道駅まで約３㎞（30 分）途中「孝婦　石川阿石」・「近藤芳樹先生生誕の地」の記念碑や岩淵宿場の街…古い立派な古民家などを見ながら歩きます。「疲れた」の声が聞こえます…「もう少し頑張れ」と声かけ…目的の駅は見えているが旧街道は迂回している為時間がかかり「近道を歩こう」

と声が上がり、とうとう田圃の畦道を一直線に歩くこととなりました。私は反対でしたが‥

本当は、私有地を勝手に歩いてはいけないのだが…「田圃道の事なら私にまかしといて」と農業経営の岡田さんは自分ちの庭のように軽やかに先頭で進みます。お蔭で予定時間より早く駅に到着。皆さんは大喜び。一列車早いのに乗って全員無事防府駅に着きました。駅に着くころになって雨が少し降り始めました。皆さんよく頑張りました。

“3 時間半のウォーキング”でした。

一休みした所で、新年会です。
このレストランは前回も利用し安くて内容も好評だったので今回も利用。
オーナー兼シェフは横浜元町で店を経営していたがアイターン、腕には自信がありそう。
料理が楽しみです。

長畑さんの乾杯音頭で始まりです。
美味しいワインを飲みながら話は弾み、特に長畑さんのオートバイの話は皆さん珍しいようで大変な盛り上がりです。今日歩いた 3 時間半の辛さは忘れているようでした。又 4 月の花見広島山口合同レクレーションにも話は弾みました。

料理は洋食コースで 7 品。特にメイン「いさきのムニエル」魚料理はめずらしく味は最高でした。
2 時間半、疲れ忘れて飲んで食べて大変盛り上がりました。「奥さんを連れてこよう。美味しかった」「疲れたが楽しかった」「筋肉痛が心配」「足に水膨れが出来たが楽しかった。昨年よりも美味しくいただきました」「21,700 歩苦しいウォーキングと美味しい料理有難うございました」など感想を聞き安心しました。次は［広島の桜」でと皆さん徳山、宇部、山口へと帰途に着きました。

長畑さん広島からのご参加有難うございました。又お越しください。

レポーター　田中幹生